

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

nico ふじの家

グループの名称

ふじの住まい研究会

直近採択グループ番号

06-0463-0452

(グループ代表者)

代表者名

石川 哲也

代表者印

代表者所属先

株式会社旭建設

代表者所在地

静岡県富士宮市淀師1617番地の1

代表者電話番号

0544-26-9125

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社西川材木店

事務局担当者名

西川 達夫

印

事務局郵便番号

418-0005

事務局所在地

静岡県富士宮市宮原130番地

事務局電話番号

0544-24-7000

事務局FAX

0544-23-6246

事務局担当者E-mail

master@nishikawa-hc.co.jp

| | | | | | | | | | |
|---|---|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------|-----------------|----------------|---|---|
| B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須) | 長寿命型 | 長期優良住宅 | 経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限100万円) | | 2 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | 2 | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 1 | 戸 | | |
| | | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円) | | | | | 戸 |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | |
| | 長寿命型 | 長期優良住宅 | 未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限110万円) | | 1 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | 1 | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 1 | 戸 | | |
| | | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円) | | | | | 戸 |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | |
| | 高度省エネ型 | 認定低炭素住宅 | 経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限100万円) | | 0 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | 0 | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 0 | 戸 | | |
| | | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円) | | | | | 戸 |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | |
| | | 認定低炭素住宅 | 未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限110万円) | | 1 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | 1 | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 1 | 戸 | | |
| | | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円) | | | | | 戸 |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | |
| 性能向上計画認定住宅 | | 経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限100万円) | | 0 | 戸 | | | |
| | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | 0 | 戸 | | | |
| | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 0 | 戸 | | | |
| | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円) | | | | | 戸 | |
| | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | | 戸 | | | |
| | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | | |
| 性能向上計画認定住宅 | | 未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限110万円) | | 0 | 戸 | | | |
| | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | 0 | 戸 | | | |
| | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 0 | 戸 | | | |
| | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円) | | | | | 戸 | |
| | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | | 戸 | | | |
| | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | | |
| ゼロ・エネルギー住宅 | 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限125万円) | | 1 | 戸 | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | 1 | 戸 | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 1 | 戸 | | | | |
| | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円) | | | | | 戸 | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | | 戸 | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | | | |
| ゼロ・エネルギー住宅 | 未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限140万円) | | 3 | 戸 | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | 3 | 戸 | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 3 | 戸 | | | | |
| | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円) | | | | 2 | 戸 | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 2 | 戸 | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | 2 | 戸 | | | | |
| C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積 | 優良建築物の申請棟数 | | 今年度要望する棟数及び面積 | | 8棟 | | | | |
| | | | | | 960㎡ | | | | |
| | | | その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積 | | 2棟 | | | | |
| | | | | | 240㎡ | | | | |
| D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須) | <p>施工事業者が請負契約書をFAX送信、事務局が受信した時間にて順位をつける。補助金配分額決定後、事務局が申込者にて補助金配分する。原則は抽選だが当事者の希望で分割もある。調整主導は事務局が行う。</p> | | | | | | | | |
| E. 平成29年度の執行状況(必須) | 長寿命型(長期優良住宅) | | | | | | | | |
| | 採択戸数 | 1 | 戸 | 交付申請戸数 | 0 | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 0 | 戸 |
| | 高度省エネ型(認定低炭素住宅) | | | | | | | | |
| | 採択戸数 | 0 | 戸 | 交付申請戸数 | 0 | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 0 | 戸 |
| | 高度省エネ型(性能向上計画認定住宅) | | | | | | | | |
| | 採択戸数 | 0 | 戸 | 交付申請戸数 | 0 | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 0 | 戸 |
| 高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) | | | | | | | | | |
| 採択戸数 | 2 | 戸 | 交付申請戸数 | 1 | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 1 | 戸 | |
| 優良建築物型 | | | | | | | | | |
| 採択棟数 | 0 | 棟 | 交付申請戸数 | 0 | 棟 | 完了実績(竣工予定含む)棟数 | 0 | 戸 | |
| 採択床面積 | | ㎡ | 交付申請床面積 | | ㎡ | 完了実績(竣工予定含む)床面積 | | ㎡ | |

| | | |
|---|---|----------------------|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | (地域型住宅の名称) nico ふじの家 | (地域型住宅供給対象地域) 静岡県 |
| 2. グループの名称・結成年(必須) | (グループの名称) ふじの住まい研究会 | (結成年) 2015 年 |
| 3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須) | 06-0463-0452 | |
| 4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。 | | |
| ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定 | | |
| 【平成30年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
| ①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能 | 住む人の生命を守る住宅の耐震性と、次世代へ継承できる長期的視野に立った耐久性、省エネルギー性を重視した快適性、スタンダード性を重視する。また、耐震等級は2以上とし、制震ダンパーなどを活用する等の制震の考えも研究し、推奨する。地域の気候に合った自然風の流れと日射のコントロールで、さらにエネルギー消費量を減らした快適な性能を持つ住宅を目指す。 | ◎ |
| ②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式 | 地域材を構造材の土台・柱に使用する。梁・桁の一部にも地域材を使用して、主要構造材の50%以上とするよう推奨していく。内装材・外装材についても地域材の積極的な利用を研究し推進していく。 | ○ |
| ③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール | 雄大な富士山麓地域の景観と調和する外観を考慮する。長期的に受け入れられるデザインと色彩を推奨する。また、チェックリストを作成し、長期的にメンテナンスが容易に出来る工夫をする。 | ○ |
| ④①～③の背景 | 静岡県は地震が発生すると、最も被害が大きいと予想されている。気候については四季の変化が日本の平均モデルでありながら温暖である。寒暖の差も小さく、冷暖房を必要とする期間も時間も限定される。当グループ=ふじの住まい研究会の在する富士市・富士宮市は、南は駿河湾に面し、北は世界遺産である雄大な富士山を中心に緑豊かな山と広大な富士山の裾野、さらに富士川などの河川も多く流れ、それに加えて富士山麓に浸透して数百年を経た湧水も多く、水にも親しみやすい全国的にも評価が高い地区である。また環境としても絶好の条件を備えている。地元の富士ひのきブランド等の木材の多くが木造住宅の構造材に適した伐期にある。 | ◎ |
| ⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 | 小グループならではのメリットを最大限に生かしていく。構成員が生まれ育った地元を知り尽くした地域密着性と、構成員が積極的に研究に参加し、切磋琢磨する特徴を出していきたい。各委員会における検討委員会も、インターフェイスで机を囲み、活発な意見交換を行い、施工についても即時に施工現場に反映できる有意義な内容に出来る。「常に革新あるのみ」をスローガンとして、確実に前に進み続けるグループとされる。 | ◎ |
| イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備 | | |
| 【平成30年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
| a | | |
| ①-1 用材の寸法規格化 | ■ 行っていない □ 行っている → 内容: 定例会で、何回か検討しているが、各々の独自性ととのバランスで、完全な規格化は出来ていない。しかし、概ね出来ている。 | ○ |
| ①-2 使用建材の統一 | ■ 行っていない □ 行っている → 内容: 定例会で、何回か検討しているが、各々の独自性もアイデンティティであり統一は出来ない。 | ○ |
| ①-3 標準仕様の設定 | ■ 行っていない □ 行っている → 内容: 定例会で、何回か検討しているが、各々の独自性もあり完全な標準化は出来ていない。しかし、概ね出来ている。 | ○ |
| ②-1 建材・資材調達の見直し | ■ 行っていない □ 行っている → 内容: 定例会で、何回か検討しているが、各自の入手ルートがあり共同調達は難しい。 | ○ |
| ②-2 調達事務の合理化 | ■ 行っていない □ 行っている → 内容: 定例会で、何回か検討している。各自の調達事務の合理化を推奨している | ○ |
| ③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置 | ■ 行っていない □ 行っている → 内容: 今年こそ合理化検討委員会を設置したい | ○ |
| ④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割 | □ ない ■ ある → 内容: 様々なやり方や考え方がある中で、事務局が広範囲からの情報を収集し、グループへ発信していく役割がある。 | ◎ |
| b | | |
| ① グループの信頼性向上に向けた施工基準 | ■ ない □ ある → 内容: 今年の定例会で、信頼性向上に向けた施工基準を作成したい。 | ○ |
| ② グループの信頼性向上に向けた検査ルール | ■ ない □ ある → 内容: 今年の定例会で、信頼性向上に向けた施工基準を作成した後に検査ルールも作成したい。 | ○ |
| ③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール | ■ ない □ ある → 内容: 今年の定例会で、信頼性向上に向けた見積り積算のルールも作成したい。 | ○ |
| ④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組 | □ ない ■ ある → 内容: 現場見学会を事務局が支援及び参加して、グループのイメージアップ効果を上げている。 | ◎ |
| c | | |
| ① 週休2日制の導入の取組 | ■ ない □ ある → 内容: 一般的な会社では当たり前の週休二日制であるが、施工業者の現場では全く休めていない。魅力ある仕事として認知されるためにも積極的に働きかけていく必要がある | ○ |
| ② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組 | □ ない ■ ある → 内容: 技能や経験は技能者として必須なものである。さらに完成までに多くの人間が関わっていく家づくりの現場で良好な対人コミュニケーション能力も大切なものとし、処遇のポイントに加えていくよう勧める | ○ |
| ③ 社会保険への加入 | ■ ない □ ある → 内容: 法人の施工業者では社会保険に加入しているが、個人の施工業者や協力業者が一人親方の場合には国民健康保険に加入している。社会保険に加入できるよう、方法などを検討していく | ○ |
| ④ 安全及び健康の確保のための取組 | □ ない ■ ある → 内容: 熱中症で死亡する例もあり、脳や心臓・血管の疾患で重大な現場労災につながる例も多い。労災事故は本人のみならず、土地住宅所有者の施工者を巻き込む大きな負の連鎖を引き起こしてしまう事実を広報し徹底するための対策を講じる | ◎ |
| その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 | とにかく、地域密着型グループなので、事務局がお手伝いして、グループ構成員一人ひとりと連携した活動を積極的に推進したい。ふじの住まい研究会nicoふじの家のコンセプトは、住まう人が家族が思わずnico!とつこりと笑顔がこぼれる。笑い声が聞こえる。毎日が生き生きと楽しい生活ができるように住む人のライフスタイルや土地・環境にマッチするよう、様々な工夫を誠心誠意全力でします。 | ◎ |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

| | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | (地域型住宅の名称) nico ふじの家 | (地域型住宅供給対象地域) 静岡県 | |
| 2. グループの名称・結成年月(必須) | (グループの名称) ふじの住まい研究会 | (結成年) 2015 年 | |
| 3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須) | 06-0463-0452 | | |
| 4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。 | | | |
| ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備 | | | |
| 【平成30年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 | |
| a | ① 住宅履歴情報の蓄積 | ①-1 内容・蓄積の共通ルール ■ ない □ ある → 内容: 住宅履歴の図書館=を推奨しているが統一出来ていない。 | ○ |
| | | ①-2 情報サービス機関の活用 ■ ない □ ある → 内容: 住宅履歴の図書館 | ○ |
| | | ①-3 履歴情報蓄積の確認手法 ■ ない □ ある → 内容: 住宅履歴の図書館 | ○ |
| | ② メンテナンス基準 | ②-1 点検の共通ルール ■ ない □ ある → 内容: 定例会にて検討している | ○ |
| | | ②-2 補修の共通ルール ■ ない □ ある → 内容: 定例会にて検討している | ○ |
| | | ②-3 点検補修実施の確認手法 ■ ない □ ある → 内容: 定例会にて検討している | ○ |
| | ③ 住まいの管理 | ③-1 住まい管理勉強会の実施 ■ ない □ ある → 内容: 定例会にて検討している | ○ |
| | | ③-2 DIY体験会等の実施 ■ ない □ ある → 内容: 現場見学会で行うための方法を検討している | ○ |
| | | ③-3 その他の相談会等の実施 ■ ない □ ある → 内容: 現場見学会で行うための方法を検討している | ○ |
| | ④ 維持管理委員会等の設置 ■ ない □ ある → 内容: 定例会にて検討している | ○ | |
| | ⑤ その他の維持管理の手法 ■ ない □ ある → 内容: 定例会にて検討している | ○ | |
| | b | ① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール ■ ない □ ある → 内容: 定例会にて検討している | ○ |
| | | ② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 ■ ない □ ある → 内容: 定例会にて検討している | ○ |
| | その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 | | 全ての活動が、地域に根ざしたグループ=ふじの住まい研究会全体の信用度の向上につながり、全構成員の信用度に直結すると理解している。道半ばではあるが積極的に前進していく。 |
| | エ. グループの技術力の向上 | | |
| 【平成30年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 | |
| a | ① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 ■ ない □ ある → 内容: 定例会にて検討している | ○ | |
| | ②-1 品質管理のための共通ルール ■ ない □ ある → 内容: 定例会にて検討している | ○ | |
| | ②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 ■ ない □ ある → 内容: 定例会にて検討している | ○ | |
| | ③-1 需給計画の策定 ■ ない □ ある → 内容: 定例会にて検討している | ○ | |
| | ③-2 技術力向上のための中長期的な計画 ■ ない □ ある → 内容: 定例会にて検討している | ○ | |
| | ④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 ■ ない □ ある → 内容: 定例会にて検討している | ○ | |
| b | ①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 8 今年度の参加目標人数 3 | ○ | |
| | ①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 1 今年度の参加目標人数 3 | ○ | |
| | ② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 □ ない ■ ある → 内容: 定例会にて講習会日程の都合を確認している | ◎ | |
| c | ① 新たな技術等の導入 ■ ない □ ある → 内容: 定例会にて検討している | ○ | |
| | ② 新たな技術等の開発 ■ ない □ ある → 内容: 定例会にて検討している | ○ | |
| その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 | | 地域密着型グループだからこそ、地域でより信頼されるための努力が大事になる。住宅履歴管理やメンテナンスの共通ルール、倒産廃業のバックアップルール等の全てが必要であり、事務局が推進する急務である。 | |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|-------|---|--|--|--|--|-----|--|-----|---|----|---|---|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | (地域型住宅の名称) nico ふじの家 | (地域型住宅供給対象地域) 静岡県 | | | | | | | | | | | | | |
| 2. グループの名称・結成年月(必須) | (グループの名称) ふじの住まい研究会 | (結成年) 2015 年 | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須) | 06-0463-0452 | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【平成30年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 | | | | | | | | | | | | | |
| a | ① 地域材利用に関する共通ルール(必須) | 地域材利用が、日本・静岡県・富士市・富士宮市の国土保全・自然環境・森林育成・景観保護・地域産業に大きな役割を果たす意義を持つ事を理解したうえで住まい手に説明し、積極的に地域材を利用するグループであることを周知していく。 | ◎ | | | | | | | | | | | | |
| | ② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須) | <input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ③ 標準的な地域材の使用部位(必須) | <table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table> | 主要構造材 | 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している | | 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している | | 梁・桁等の横架材等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している | 羽柄材 | 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している | 造作材 | 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している | 板材 | 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している | ○ |
| 主要構造材 | 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している | | | | | | | | | | | | | | |
| | 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している | | | | | | | | | | | | | | |
| | 梁・桁等の横架材等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している | | | | | | | | | | | | | | |
| 羽柄材 | 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している | | | | | | | | | | | | | | |
| 造作材 | 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している | | | | | | | | | | | | | | |
| 板材 | 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している | | | | | | | | | | | | | | |
| | ④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明 | ①原木供給⇒製材⇒プレカット⇒施工 供給⇒製材⇒流通⇒プレカット⇒施工 の流れとなる。原木供給と事務局・流通が情報交換を密にする ②原木 ①②の地域材 | | | | | | | | | | | | | |
| b | ①-1 地域材在庫把握の仕組 | <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員からの要請に応じて事務局が即答できるように把握している | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ①-2 地域材価格の共有の仕組 | <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 需要動向や為替レートも考慮して、地域材価格の動向を含めて案内する | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ② グループ全体における地域材の需給予測 | <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内の住宅着工を定期的に確認する協議をしている | ○ | | | | | | | | | | | | |
| c | ①-1 畳の活用 | <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 畳の持つ素晴らしさをPRして使用を勧める | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ①-2 和瓦の活用 | <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地震県である静岡県。屋根は軽量のものが安心感がある | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ①-3 襖の活用 | <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ①-4 障子の活用 | <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 昔の家で使われた古い障子が人気 ジャパンテイストで人気 | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 | <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用 | <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: | ○ | | | | | | | | | | | | |
| d | ① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 | <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ② 地域の住まい方の継承につながる取組 | <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 | <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 世界遺産の富士山麓に位置し、浅間大社の門前町ということもあり、街並み形成に関心が高い | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | ④ 和の住まいの要素を取入れた取組 | <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 | 住まいの建築土地は千差万別であり、住む人は十人十色である。嗜好も考え方も、生活スタイル・家族構成も異なる。つまり、「世界で、ただ一つの家族の住まい」を作り上げることになる。予算の制約の中で、この家族の大切な住まいを作る使命感を胸に、創造的な喜びを味わい、惜しみない努力を注ぎ、家族が安全で生命力あふれる明るい生活ができるように祈って、一人一人が真剣に仕事に集中する。この集約が素敵な「世界で一つだけの住まい」となりそこに住む家族に長年に愛され大切に住んでもらえる事につながると考えている。 | ◎ | | | | | | | | | | | | |
| カ. その他 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【平成30年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 | | | | | | | | | | | | | |
| | 東日本大震災の復興に資する取組 | 定例会や現場見学会で、耐震の重要性を確認し説明している。 | ◎ | | | | | | | | | | | | |
| | 平成28年熊本地震の復興に資する取組 | 定例会や現場見学会で、耐震の重要性を確認し説明している。 | ◎ | | | | | | | | | | | | |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

| | | |
|---|--|-------------------------------------|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須) | <small>(地域型住宅の名称)</small> nico ふじの家 | <small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 静岡県 |
| 2. グループの名称・結成年月 (必須) | <small>(グループの名称)</small> ふじの住まい研究会 | <small>(結成年)</small> 2015 年 |
| 3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須) | 06-0463-0452 | |
| 4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み | | |
| キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。 | | |
| ゼロ・エネルギー住宅＝ふじの住まい研究会nico ふじの家のコンセプトは一次エネルギーを最小限にすることを考えてます。 | | |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。